

エスプラナード・デ・ザンヴァリッド
(アンヴァリッドの前に広がる主会場)

アール・デコ博建築造形論

1925年パリ装飾美術博覧会の会場と展示館

三田村 哲哉 著

アール・デコ様式の主要な一源泉と解釈され、近代建築史上最も重要な博覧会のひとつである「アール・デコ博(1925年パリ現代装飾美術・工芸美術国際博覧会)」。これまではル・コルビュジエのエスプリ・ヌーヴォー館など一部の規範的な近代建築のみが注目され、アール・デコ様式によるフランスの展示館に関する学術研究は極めて乏しい状況にあった。本書は、主会場のエスプラナード・デ・ザンヴァリッドに集約されたフランスの各展示館について、会場計画から建築造形までの統括的な考察を通じてアール・デコ様式の新たな解釈を試みたものである。

アール・デコ博建築造形論

—1925年パリ装飾美術博覧会の会場と展示館—

定価 33,600円 (本体 32,000円+税)

上製本・函入り

B5判 本文 548頁 口絵 8頁 挿図 336点

ISBN978-4-8055-0614-1 C3052

〈本書の内容と特色〉

- 本書は第一部においてアール・デコ博の会場計画を詳細に検討し、展示館の設計上の諸条件を明らかにした上で、第二部ではアール・デコ様式と認識されるようになったフランスの各展示館の建築造形の特徴を分析している。
- アール・デコ博の配置図（実施図面および竣工図）をはじめとした未公開建築図を多数掲載し、敷地の選定、会場計画、および主要な展示館を計画案、実施案、竣工図の各段階に関して詳細に説明。
- 日本の出展の企画から独立館の建設までを詳述するとともに、当時の日仏の評価に関して比較分析を行った。
- 写真と図面を各展示館ごとにまとめて掲載。図面は可能な限り縮尺を統一し、建築の規模を把握しやすくした。
- 巻末に包括的な資料目録（建築資料、公式記録、法案、フランス議会文書、パリ市公報、協定書、書簡）およびアール・デコ博に関わった主な人物（建築家、装飾家、政治家）の詳細な紹介を付した。

〈著者紹介〉

三田村 哲哉 (みたむら てつや)

首都大学東京大学院都市環境科学研究科・非常勤講師

2004年 東京都立大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了博士（工学）、専攻は建築史・意匠

〈主な著作〉

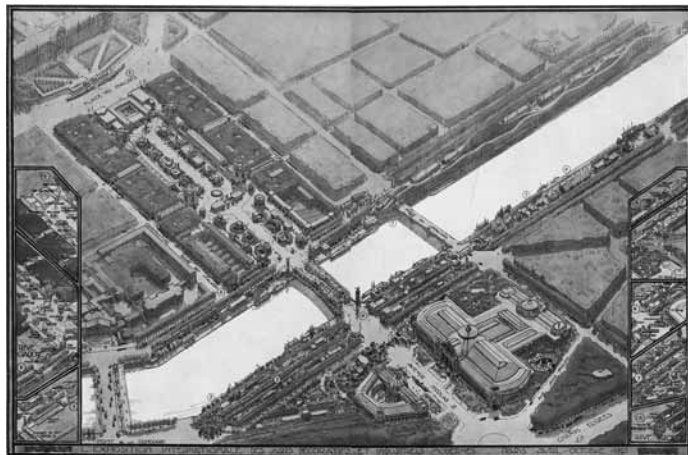
『世界のコンバージョン建築』（鹿島出版会、2008年、共著）

「劇場の建築造形—1925年パリ現代装飾美術・工芸美術国際博覧会の展示館に関する考察 その4」『日本建築学会計画系論文集』631号、2008年9月

「アール・デコ博のパリ市館」『建築史学』48号、2007年



エスプラナード・デ・ザンヴァリッド
(左：百貨店館によって画されたエリア、右：4つの塔によって画されたエリア)



1925年5月の会場計画案、鳥瞰図

目次

■序

■第一部 会場計画

第一章 企画

第一節 会場の地理

第二節 会場の歴史

第三節 企画の設計者

第四節 企画の考案

第五節 企画の課題

第二章 敷地

第一節 選考

第二節 候補

第三節 問題

第四節 決定

第五節 条件

第三章 会場

第一節 1922年3月案

第二節 1922年7月案

第三節 1922年11月案

第四節 1924年1月案

第五節 1925年5月案

■第二部 フランスの展示館

第一章 ギャラリー

第一節 ギャラリー・デ・マルブル

第二節 塔

第三節 技能館

第四節 劇場

第二章 百貨店館

第一節 ギャラリー・ラファイエット百貨店館

第二節 プランタン百貨店館

第三節 ルーヴル百貨店館

第四節 ボン・マルシェ百貨店館

第三章 独立館

第一節 セーヴル国立製陶所館とダイヤモンド商組合館

第二節 リヨン・サン＝テチエンヌ館とナンシー地方館

第三節 コレクター館と『アール・エ・デコラシオン誌』館

第四節 その他の独立館

■結

あとがき

一次史料（資料目録）、二次資料（文献目録）、図版出典

主要人物紹介

索引

中央公論美術出版

<http://www.chukobi.co.jp>

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834